

## 令和5年度 国語科 「国語総合研究Ⅱ」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	理数科 3年H組
教科書	精選現代文B（教育出版） 高等学校古典B古文編（三省堂） 高等学校古典B漢文編（三省堂）	副教材等	大学入試に出た核心漢字2500+語彙1000（尚文出版）、〔改訂版〕現代文キーワード読解（Z会編集部）、錬成現代文（尚文出版）、新修古典文法（京都書房）、Look@古文単語337（京都書房）、精選漢文（尚文出版）、プレミアムカラー国語便覧（数研出版）

## 1 学習の到達目標

漢文、古文、近代以降の様々な文章を読み解く力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、積極的に発表し、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

## 2 学習の計画

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
前期	4	人物の心情の推移を的確に捉える。	現代文・小説「檸檬」（梶井基次郎）	・「私」の内面やそれを託した「物」にこめられた意味を小説の展開に即して整理する。	・文章の細部を読み込み、語り手の特徴・登場人物の心理の変化を読み取ろうとしている。（行動の観察）
		随筆を読み味わう	古文・随筆「枕草子」・二月つごもり頃に	・平安貴族のやりとりに注目し、清少納言の心情の変化を読み取る。	・登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。（行動の観察）
	5	構成・展開を確認する	漢文・小説「人面桃花」	・登場人物の心情を追い、当時の中国の友人観、死生観について考察する。	・話のおもしろさを味わうと共に、作品が成立した時代背景について理解を深めようとしている。（行動の観察）
		現代社会を捉え直す	現代文・評論「ロスト近代」（橋本努）	「近代化」「ポスト近代」「ロスト近代」などの変遷をおさえ、社会の在り方について意見をもたせる。	「近代化」「ポスト近代」「ロスト近代」の三つの区分に分け、それぞれどういう時代かを説明できる。（記述の分析）
	6	歴史上の人物の心情を、歌や詩を通して読み取る	古文・物語「大鏡」・東風吹かば	・登場人物の心情を読み取るとともに、歌や漢詩を理解し、物語の展開を読み味わう。	・物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。（行動の観察）
	7	登場人物の心情を的確に読み取る	漢文・史伝「三国志の世界」	・「三国志」の構成や概要を把握する。重要な句形を確認しつつ、人物の関係や心情を読み取り、漢文独特の表現の面白さを理解する。	・歴史物語に関心を持ち、登場人物の言動や心理を的確に読み取っている。（行動の分析）
	8	人間の世界の認識の仕方について考えを深める。	現代文・評論「アーキテクチャの権力」（大屋雄裕）	・「アーキテクチャによる支配」を理解し人間社会に就いての理解を深める。	・法や規範とアーキテクチャの規制との違いを説明できる。（行動の分析）
	9	筆者の心情を読み取る	古文日記「蜻蛉日記」・うつろいたる菊	・作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。 ・評論を通して筆者の和歌への思いを読み解く。	・平安女流日記文学の特徴を理解しようとし、また、和歌に込められた情景を読み取ろうとしている。（行動の観察）  ※定期考査や小テストの結果、授業中の発表や提出物の状態を総合的に評価する。

学期	月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
後期	10	諸子の主張とその論じ方を捉える	漢文・思想 「孟子」「荀子」「老子」等	・諸子百家の概略を理解する。老荘思想を中心に、中国古代思想の多様性や独創性に触れ、人間や社会の在り方について考えを深める。	・儒家思想を中心に人間や社会の在り方についての考えを深めている。 (行動の分析)
	11	人間と世界の関係性について関心を持ち、現代社会について考えを深める。  主人公の心情を理解する。	現代文・評論 「「知」をこえる知」 (田川健三)  古文・物語 「源氏物語」 ・心づくしの秋風	・論の展開にそって、筆者の主張をまとめる。  ・情景の描写と重ねて主人公の心情が描かれていく叙述の特徴を読み取る。	・論の要旨・展開を的確に把握し、人間と世界の関係性について自分の考えを深めることができる。 (記述の分析)  ・内容を踏まえて登場人物の心情を理解し、自身の考え方を深めようとしている。(行動の観察)
	12	人間の生き方やあり方を考える  「平家物語」についての作者の考えを理解する	漢文・史伝 「史記」 ・廉頗・藺相如 ・荊軻  現代文・評論 「平家物語」(小林秀雄)	・登場人物の行動を追い、その心情を理解する。  ・文章の書かれた時代背景と現代社会に通じる普遍的な課題について考え、発展させる。	・簡潔な表現に注目しながら、内容を的確に読み取っている。 (行動の分析)  ・作者の述べる「真実の回想」を理解し、自分なりに現代社会の課題について考えを深める。(行動の観察)
	1	「グローバル化する世界」の問題点をつかむ	現代文・評論 「グローバル化の波打ち際で」(西谷修など)	・「グローバル化する世界」と「日本」という関係性について理解し、考えを深める。	・「グローバル化」について、幅広い視点から考えを深めることができる。(行動の観察)  ※定期考査や小テストの結果、授業中の発表や提出物の状態を総合的に評価する。

### 3 評価の観点

関心、意欲、態度	古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古文についての理解や感心を深めようとしている。
話す、聞く能力	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現の仕方によって、自分の考えを文章にまとめ、深めている。
読む能力	古文の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
知識、理解	伝統的な言語文化及び古文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。

### 4 評価の方法

「関心、意欲、態度」、「話す、聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「知識、理解」の5観点から、評価規準に従い、定期考査・課題テストの結果、アウトプットの仕方、提出物の在り方、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など)

現代文は、教えられた内容を記憶する科目ではなく、自分の人生を切り開くため、みずから文章を読解し、考え、表現する能力を訓練する科目です。したがって、受身の学習ではなく、積極的な学習が要望されます。また、他の人の発表中に内職するなどは許されません。

古典に関しては、「温故知新」という言葉があるように、現代を知るには昔を知り、自分に還元させることが重要です。『古典』を単なる「読み物」として捉えるのではなく、自分の問題として受け止め、何かを学び取っていく態度を養ってください。